

2009年度 事業計画

2009年1月1日から2009年12月31日まで

特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド

はじめに

2009年度は昨年度に引続き活動の基盤整備に重点を置く。シマフクロウの保護・保全を推進するために、会員や寄付及び募金活動を継続して行う。また、保護の担い手を発掘し育成するためのセミナーや多くの人への関心と理解を図るための講演会やエコツアーの実施、ホームページや会報等各種印刷物によるPR活動を継続して行い、支援者の拡大と保護活動の活性化を目指す。

<各事業の概要>

I 保護・保全・支援事業

1. 給餌

1) 給餌事業

シマフクロウの保護増殖を促進するために、おさかな寄付収入で活魚を購入し、給餌池に放流する。

2) 給餌のための募金活動

おさかな寄付の必要性を広く多くの人に伝え、昨年に引続き募金活動を行う。

2. 巣箱かけ

1) 巣箱の設置

シマフクロウ用の巣箱を作製し、繁殖の可能性がある個所に設置する。設置後は利用状況の調査を行う。

2) 巣箱設置のための募金活動

巣箱寄付の募集を昨年に引き続き行う。

3. 調査

シマフクロウの繁殖行動を把握し、既存の繁殖個体について継続調査し、未知の繁殖地、繁殖候補地を見つけるために以下の調査を行う。

1) 繁殖行動の把握

繁殖行動を観察し、繁殖生態の理解を深め、知識の蓄積を行う。

2) 繁殖個体の継続調査

2008年度繁殖個体を継続して調査し、繁殖に悪影響を及ぼす事項について注意を払う。

3) 未知繁殖地の発見

巣箱設置個所、生息情報をもとに、未だ知られていない繁殖地の発見に努める。

4) 繁殖候補地の選定

巣箱設置に適した場所の選定を行う。

II 人材育成事業

セミナー

保護の担い手を発掘し育成するために、2008年度に引き続きシマフクロウ保護調査員養成セミナーを実施する。

III 環境教育事業

1. 講演会

多くの方がシマフクロウへの関心を持ち、支援が必要なことを理解するために、講演会を実施する。

2. 教材整備

シマフクロウの生態を広く多くの人に知ってもらう教材を作成するために、シマフクロウへの負荷を軽減する効果が期待できる観察小屋の建設に着手する。

IV エコツアーリズム事業

2008年度に引き続き、シマフクロウの暮らす森や川を歩くツアーを通年実施し、支援者の拡大を目差す。

V PR 事業

シマフクロウの窮状を広く多くの人に知らせ、会の支援者を増やし、自主財源を確保し、保護・保全・支援・普及活動を推進するために以下のPR事業を行う。

1) ホームページによる PR

活動報告やブログ等を更新し、入会や各種問い合わせ等に随時対応する。

2) 入会パンフレット等印刷物による PR

2008年度に引き続き、入会パンフレットの配布を行う。会報を発行し、会の活動を紹介する。

3) その他の PR 活動

必要に応じて随時 PR 活動を行う。